吉川市教育大綱「家族を　郷土を愛し　志を立て　凛として生きてゆく」

のびゆく北谷っ子

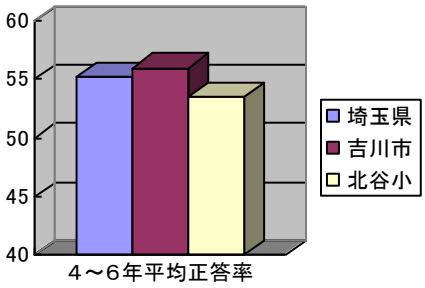
令和６年９月27日
吉川市立北谷小学校
児童数　416名
吉川市高富857番地
TEL 048-982-5158
FAX 048-984-5273

令和６年度埼玉県学力・学習状況調査の結果からわかること　校長　小林　央士

最も遅い猛暑日の記録が80年ぶりに更新される等、猛威を振るった今年の夏の暑さもようやく和らぎ、朝夕の冷え込みには肌寒さすら感じるようになりました。季節の変わり目は体調を崩しやすくなります。

今のところ、校内で感染症の流行の兆しはみられませんが、咳をしている児童が増えてきているように感じます。引き続き、就寝時に体を冷やさないようにする等、健康面へのご配慮をお願いします。

令和６年度埼玉県学力・学習状況調査（対象学年4～6年、以下「県学調」という）の結果が公表されました。北谷小の4～6年の国語の平均正答率は、昨年度は県平均より-3ポイントという結果でしたが、令和６年度は-1.7ポイントと差を縮めることができました。一方、教科の領域「情報の扱い方、我が国の言語文化」、および「読むこと」の平均が県よりやや劣るという課題が明らかになりました。



令和６年度は国語の校内研修で、説明的な文章の読解を中心に指導方法の改善に取り組んでいます。説明文の段落構成や事例の挙げ方、効果的な資料の使い方などについて教材文から学び、興味ある題材等についての意見文を書くことで、学力の向上を図ります。児童の意欲・関心をいかした主体的な学習を通して、県学調で明らかになった学力の諸課題に対応していきます。

また、学力の伸びの経年変化に注目すると、次のような生活習慣を続けている児童が着実に学力を伸ばしていることが分かりました。

○　「一か月に何冊の本を読みますか」という問いに、「３～４冊」と答えている。
○　「土日、一日どれぐらいの時間、勉強しますか」という問いに、「1時間以上２時間未満」と答えている。
○　「家で一日当たりどれぐらいの時間、パソコンやタブレットなどでインターネットを利用しましたか」という問いに、「30分より少ない」と答えている。

ご家庭において、決まった時間帯に家庭学習に取り組んだり、パソコンやインターネットの利用時間を定めたり、日頃から読書に勤しんでいる児童が学力を伸ばしていることがわかります。北谷小では、国語の授業を通して「読む力」「説明的な文章を読み解く力」等の学力を高めていきます。その土台は、ご家庭での生活習慣により培われる部分が大きいのです。一年間で最も学習や読書に適した季節。学校での学習の効果を高めるためにも、子供たちが秋の夜長を有効に使えるように、お声掛け等をお願いします。

朝食をとることの大切さ　脳にダメージを与える朝ごはんぬき

毎日、何人かの子供たちが気分不快を訴えて保健室を訪れます。聞き取ってみると、体調不良を訴える子の中に「十分に朝食を食べていない」児童が多いことに気付きます。そうした子たちに、朝食を摂ることの大切さを伝えています。予防医療コンサルタントの細川モモ先生は、次のように述べておられます。

○　脳は寝ている間も、ブドウ糖を消費している。そのため朝起きたときはエネルギー不足になる。ブドウ糖を補給しないと脳は低血糖になり、集中力がなくなりイライラしやすくなる。
○　朝ご飯を食べると血糖値が上がり、脳のエネルギーを確保できる。心も体も安定させることができる。
○　一日２回しか食事を摂らないと、眠気やだるさが襲ってきて、勉強の効率が落ちて学力が向上しない。

特に、朝たんぱく質を摂るとエネルギー代謝を促し体温を上げ、筋肉をつくり貧血を予防します。次のようなメニューがベストとのことです。「卵」「ツナ缶」「シーフードミックス」「ヨーグルト」「チーズ」

夜遅くまでゲームをしていると、空腹で夜食が欲しくなり、食べると就寝が遅くなり、朝食抜きにつながります。これは肥満に一直線コースです。また、朝食を摂らないで学校に来るのは、電池残量残り０％のスマホで作業に臨むようなもの。子供たちが心と身体を安定させ、元気に学校生活に打ち込めるよう、生活習慣を整えてバランスのとれた朝食を食べ元気に登校できるよう、ご配慮をお願いいたします。

（参考：「成功する子は食べ物が９割」細川モモ監修　主婦の友社）